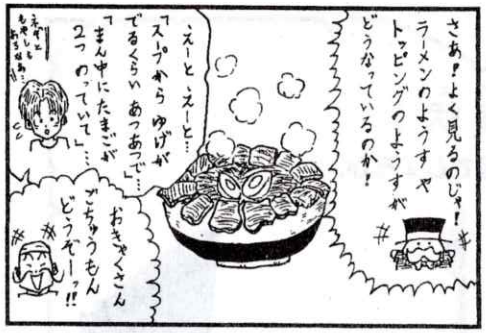

～～ 語彙力・表現力の書 ～～

★相手に様子が伝わるように書くことが大切！

「ヤバい」「エモい」等の言葉は、主に若者の間で使われていたスラング（俗語）です。漠とした意味合いや使い勝手の良さから、今では広く認知される言葉になりました。しかし、友達同士では通用しても、一般社会や文章としては適さない側面もあります。誰が読んでもわかる言葉や表現を使うことも、大切なコミュニケーションですね。

1.「ことば集め」ゲームで語彙を増やしましょう。（難易度　中）

- 指定の時間内に、お題に合った言葉を集める。（個人でもグループでも可）
- その後、山の手線ゲームやサッカーのＰＫ合戦のように、お題にあった言葉を順番に発表し合う。つまり、たくさん言葉を集めた方が有利に…。

【お題の例】「喜ぶ」という意味をもつ言葉

諸手を挙げて喜ぶ　歓喜する　狂喜乱舞する　天にも昇る気持ちになる

2.「プレゼン練習」で、伝える力を磨きましょう！（難易度　高）

- お題に合ったスライド（写真、イラスト等）を２～３枚用意し、それにあわせたスピーチ原稿を作成する。

【お題の例】「外国の人に紹介したい日本の魅力」

「無人島に持っていくと便利な道具　第１位は？」

- 話し方（話すスピード、抑揚など）を工夫して、実際にプレゼンをする。
- 何人かのプレゼンの後、誰の伝え方がわかりやすかったかを、聞き手に判定してもらう。その際は、良い点やアドバイスも忘れずに…。